

## 2019年度 羽ばたけ! TUT 海外研修応援キャンペーン報告書

5 系 ( B・M ) 4 年 氏名 小松 黛芽

参加プログラム	フリープラン B
研修期間	2019年 10月 11日 ~ 2019年 10月 21日
渡航国・都市	インド — ムンバイ
研修先機関名またはプログラム名	Spatial characteristics of the slum industry in terms of regional relationship inside and outside the slum -the case study of Dharavi slum-
<p><u>研修の概要</u> (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)</p>	<p>私は現在取り組んでいる卒業研究において、現地調査を実施するために今回の応援プロジェクトに応募しました。卒業研究の目的はムンバイ（インドの経済拠点都市）にある、ダラービーというスラムの中で営まれている産業の経済の流れや、ダラービー内での産業立地にどのような特徴があるのかを明らかにするものです。研修の中では、朝から夕方までダラービーで活動しているショップや工場のオーナー・従業員の方にインタビューを行って情報集めに努めました。初めての海外、初めてのスラムと私にとっては未知のことばかりが広がっていましたが、ダラービーの人々はとても親切でインタビューにも時間の許す限り応えてくれました。研究調査はお手伝いさんとして参加してくれた現地の通訳さんを通じて、多くの工場や店舗のオーナーさんにインタビューさせて頂き、日本に戻ってからの結果のまとめなど更に励まなければとお尻を叩かれた気持ちになりました。また、個人的に嬉しかったこととして他の人の力に頼らずに自らスラムの中で友人をつくることができ、加えてその友人を通じてインタビューに応じてくれるオーナーさんに辿り着くという出来事を経験することができ、初めてだらけの海外は充実したものになりました。</p>
<p><u>活動写真（1枚）</u></p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>現地調査の中で出会ったオーナーさんとの一枚（オーナーさんは皮革製品（革靴・財布など）に用いられる「なめし革」を製作するプロセスの一部を担う工場を営んでいた）</p> </div> </div>